

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターこじか園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子による療育の充実	・「保護者通園」のため、小集団保育の内容についての目的や効果について、その場で保護者に説明を行っています。また、職員の、子どもへの接し方を直接見て頂き、保護者が、家庭の中で実践できることもメリットになると思います。	・子どもも保護者も安心して通えるよう、安全面や衛生面に配慮していきます。
2	・発達支援におけるプログラムの充実	・地域の幼稚園や保育園等に通いながら、併行通園ができます。お子さんの課題に沿って、「午前グループ」や「午後グループ」「SSTグループ」など、療育効果の高い、多様なプログラムの選択ができます。	・各種研修会への参加や、施設内勉強会を行い、発達支援の更なる充実を目指し、職員のスキルアップを図ります。
3	・保護者支援の充実	・保護者の悩み相談を随時、個別で行っています。また、月1回程度は「保護者講座」を開催するとともに、年長児の保護者にはペアレント・トレーニングを実施しています。 ・「親の会」が月1回あり、保護者同士が悩みや情報を共有できる場を設けています。	・「午後保育」や「SSTグループ」の保護者も講座に参加ができるよう、情報の伝達を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域住民や、近隣の認定こども園等との交流	・併行利用している利用者が多いため、保護者からのニーズは少ないように思います。また、事業所の近くにこども園等がなく、交流の難しさを感じられます。	・地域住民の方が行っている「人形劇」や、JR九州の方とのボランティアを受け入れ交流を図っています。 ・こども園との交流については、必要性に応じて検討していきたいと思います。
2			
3			